

中原 太郎

准教授

略歴

2003年	東京大学法学部卒業(学士(法学))
2005年	東京大学大学院法学政治学研究科民法専攻修士課程修了(修士(法学))
2005年	東京大学大学院法学政治学研究科助手
2007年	東京大学大学院法学政治学研究科助教(職名変更)
2008年	東北大学大学院法学研究科准教授
2018年	東京大学大学院法学政治学研究科准教授

担当授業科目

上級民法1

所属学会

日本私法学会

主要著作

『今を生きる—東日本大震災から明日へ！復興と再生への提言— 3 法と経済』(東北大学出版会、2013)(共著)

『民商法の溝をよむ』(日本評論社、2013)(共著)

『信託の理論と現代的展開』(有斐閣、2014)(共著)

『Quel avenir pour la responsabilité civile ?』(Dalloz、2015)(共著)

『Le préjudice : entre tradition et modernité』(Bruylant、2015)(共著)

『Droit du Japon』(Droit du Japon、2016)(共著)

『Regards juridiques franco-japonais sur le risque environnemental』(Presses Universitaires d'Aix-Marseille、2017)(共著)

『環境リスクへの法的対応—日仏の視線の交錯』(成文堂、2017)(共著)

『判例30！民法4 債権各論』(有斐閣、2017)(共著)

「フランス法における申し込み及び一方予約の拘束力とその基礎(1)(2・完)」法学協会雑誌123巻2号、3号(2006)

「機會の喪失論の現状と課題(1)(2・完)」法律時報82巻11号、12号(2010)

「事業遂行者の責任規範と責任原理」法学協会雑誌128巻1号～8号(2011)、129巻9号、10号(2012)

「国家賠償責任と使用者責任(1)～(3)」法学74巻6号、75巻1号(2011)、77巻2号(2013)

「原子力損害の填補・再論」民事判例IV(2012)

「純粹經濟損失」法律時報86巻5号(2014)

「フランス不法行為法の現代的諸相—伝統と革新の間で—」東北法学会会報33号(2015)

「過失責任と無過失責任—無過失責任論に関する現状分析と理論的整序の試み—」別冊NBL155号

- (2015)
「[代位責任]の意義と諸相－監督義務者責任・使用者責任・国家賠償責任－」論究ジュリスト16号
(2016)
「座談会 インターネット上の表現に関する名誉毀損訴訟・発信者情報開示訴訟」論究ジュリスト21号
(2017)
「移転的取引操作－債権譲渡、債務引受、弁済による代位」論究ジュリスト22号(2017)
「債権譲渡－「日本法主義」とその現況」中日民商法研究16巻(2017)
「不法行為責任における利益の階層性－フランス法主義の行方」日仏法学29号(2017)
「債権法判例の行方(6) 債権者の担保保存義務[最高裁第二小法廷平成7.6.23判決]」法律時報90
巻1号(2018)
「安全配慮義務論の行方－民法(債権法)改正の一断面」中日民商法研究17巻(2018)
- 「学会展望(フランス法) Anne Guégan-Lécuyer, Dommages de masse et responsabilité civile」国家学会雜
誌125巻11＝12号(2012)
ヨナス・クネチュ(ジョナス・クネシュ)(中原太郎訳)「講演 フランス民事責任法改正－2016年4月29日の
司法省法律草案の比較法的検討」法学80巻5号(2016年12月)555-580頁
翻訳「資料 民事責任の改正に関する法律草案(フランス司法省・2016年4月29日)」法学80巻5号
(2016)
翻訳「資料 フランス民事責任法改正に関する2つの草案(カタラ草案・テレ草案・規定対照表)」法学81
巻1号(2017)
パトリス・ジュルダン／アンヌ・ゲガン＝レキュイエ／ジョージアンヌ・キャリエール＝ジュルダン(中原太郎訳)「講
演 シンポジウム フランス不法行為法の現代的課題－環境損害・多衆侵害」法学82巻2号(2018)
マチルド・オートロー＝ブトネ／ヴァンサン・オートロー(中原太郎訳)「講演 環境に対する侵襲－フランス
民事責任法をどう変身させるか？」法学82巻3号(2018)
- 「労災保険法に基づく遺族補償年金の給付と損益相殺的調整」法学教室425号(別冊判例セレクト2015
I)(2016)
「ボランティアの民事責任」岩村正彦編『社会保障判例百選(第5版)』(有斐閣、2016)
「運行によって(4)－集中豪雨による冠水道路での走行不能車両からの避難に際しての溺死」新美育文
＝山本豊＝古笛恵子『交通事故判例百選(第5版)』(有斐閣、2017)
「児童養護施設における事故と損害賠償責任」宇賀克也＝交告尚史＝山本隆司『行政判例百選II(第
7版)』(有斐閣、2017)
「企業損害」森脇昭夫監修・新美育文＝加藤慎太郎編集『実務精選100 交通事故判例解説』(2017)
「代表理事の代表権の制限と民法110条」潮見佳男＝道垣内弘人編『民法判例百選I(第8版)』(有斐閣、
2018)
「認知症患者の起こした事故と家族の責任－JR東海事件」窪田充見＝森田宏樹編『民法判例百選II
(第8版)』(有斐閣、2018)
「使用者から被用者への求償権の制限」窪田充見＝森田宏樹編『民法判例百選II(第8版)』(有斐閣、
2018)
「責任能力と監督義務者責任」千葉恵美子＝潮見佳男＝片山直也編『Law PracticeII 債権編』(商事
法務、2018)